

※印は、達成目標の最新値（令和3年9月現在）

（主な取組内容を記載）

地域のめざす姿

○保健・医療体制が充実、南佐久地域を中心に県内有数の農産物の産地及び豊富なカラマツ資源という特長（魅力）を活かして、「確かな暮らし」を確保する地域づくりを推進



（ハケ岳山麓に広がるレタス畑）

○美しく見える星空や高い晴天率による青空を活かした観光地域づくりを促進



（星空観賞会）

○首都圏からの良好なアクセスや北佐久地域に集積されている商工業等も活かして、移住・二地域居住を促進



（都市圏での移住セミナー）

○佐久地域特有の資産である浅間山の防災体制の強化と観光資源としての活用促進



（管内から見える浅間山）

○県外との新たな交流や物流を生み出す中部横断自動車道の整備促進



（中部横断自動車道）

地域重点政策と達成目標

1 健康長寿と地消地産の推進を核とした地域づくり

●さくっと「ずく出す」プロジェクト

- 働き盛りから高齢者までの運動習慣定着等の支援、様々な世代への意識啓発
- プレメディカルケア産業に関する企業との連携



要介護・要支援認定率 ※2020年度
14.9% → 14.9% 14.8%（「ずく出すサポーター」の養成講座）

●佐久「地消地産」プロジェクト

- 地元農産物の小ロット物流や信州ブランド魚の冷凍技術の研究等
- 上田地域と連携した地域内農産物等の循環の構築



新たに地元食材を利用する宿泊施設数 ※2020年度
0施設 → 20施設 14施設
（農産物の産地巡り見学会）

●いづら佐久カラマツ活用プロジェクト

- カラマツ製品等の普及啓発や上田地域との連携によるブランド力の強化
- 皆伐跡地の再造林等の森林整備を推進



民有林のカラマツ丸太の生産量 ※2019年
53,768㎡ → 65,000㎡ 68,601㎡（カラマツ材加工体験）

2 美しい星空と青空をテーマとした観光地域づくり

●星空・宇宙を学び、楽しむプロジェクト

- 子どもたちが将来も星空や宇宙に親しめるような取組や観光客が学び、楽しむための取組を支援
- 光害対策の普及啓発や美しい星空を保全する気運の醸成



観光地延利用者数 ※2020年
1,495万人 → 1,545万人 943万人
（天体観測施設での星空観賞）

●高い晴天率を活かした青空の下で楽しむプロジェクト

- 北国街道の歴史的建造物を活かした整備や東信州中山道らしいおもてなしの強化
- 観光列車が走る小海線やしなの鉄道を観光資源として活用し、周遊観光を促進



（東信州中山道ウォーキングイベント）

3 地理的優位性を活かした移住の促進と二地域居住の探求

●佐久地域の移住スタイルの探求

- 多様なライフスタイルを広域的な視点で分析・類型化し、地域に暮らす「人」「生活」に焦点を当てた情報発信



移住者数 ※2020年度
323人 → 449人 363人
（佐久地域で暮らす移住者）

●佐久地域の特色ある教育・子育て環境のPR

- 保健・医療体制や子育て支援策をはじめとした市町村の取組、特色ある教育に取り組む公立・私立学校についての情報発信



（小学校での外国語授業）

4 浅間山の防災体制強化及び活用

●防災体制の強化

- 市町村による大規模噴火ハザードマップに基づく避難計画等の策定支援や周知を行い、「減災」意識の醸成を促進
- 山麓観光スポット等において噴火に関する情報を観光客等に発信



浅間山登山客数 ※2020年 2.1万人 3.6万人 → 5万人
（長野・群馬両県及び周辺市町村等で構成する火山防災協議会）

●固有の資源としての活用

- 浅間山の2か所の登山口を結び、周遊の利便性を高め、周遊登山を促進
- ジオツーリズム等の地域活動等の支援や「浅間山火山マイスター（仮称）」認証制度を検討



（浅間山周遊登山）

5 新たな交流・物流に向けた中部横断自動車道の整備促進

八千穂高原ICまでの延伸効果を活用

●道路網の整備

- 周辺道路の整備



（中部横断自動車道周辺道路）

●地域産業の発展と産業誘致の促進

- 「東京が一番近い信州」を活用した地域産業全般の発展と産業誘致の促進

●移住・定住及び観光誘客の促進

- 通勤エリア等の拡大を活用した移住・定住の促進
- 首都圏や軽井沢を起点とした地域全体の周遊観光の促進

●早期の全線開通に向けた気運醸成と全線開通後の波及効果の研究

地域の総合力でめざす姿を実現

●佐久の現地機関・市町村・他の地域振興局・他県との連携

●地域住民・企業・教育機関等関係団体との連携